

政策目標7

自然と共生する環境負荷の少ない街（創造戦略7：低炭素都市創造戦略）

政策1

持続可能な集約型の都市への再構築

将来的な人口規模、年齢構成などを見据えながら、エネルギー効率の良い集約型の低炭素都市への再構築を進めます。そのため、地下鉄などの公共交通体系を基軸とした土地利用の高度化を図るとともに、都心や地下鉄駅などの交通結節点を核に都市機能の集積を促進していくことにより、都市活動による環境負荷を低減します。

■ 成果指標

| 指標設定の考え方 | 指標 | 現状値 | 目標値 | 【参考】目標値 (ビジョン) |
|-----------------------|----------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 都心と地域交流拠点の機能集積状況を示す指標 | 都心の区域内実容積率 | 219.0% (平成23年度) | 242.7% (平成31年度) | 250% (平成34年度) |
| | 地域交流拠点の区域内実容積率 | 93.0% (平成23年度) | 102.5% (平成31年度) | 105% (平成34年度) |

留意事項

◆H26外部評価対象事業(No.1)、H27に「札幌市都市計画マスタープラン」の見直しを実施(No.1)

(単位:千円)

| No | 事業名 【】内は、評価調書上の事業名 | 担当部署 | 事業概要 | H27予算⇒決算 ()内は主な支出内容 |
|----|--|----------------------------|---|---|
| 1 | 土地利用計画調査策定事業 【都市構造強化推進事業費】 | 政)都市計画 部都市計画 課 | 人口減少・超高齢社会の到来や低炭素の都市づくりに対応するため、都市計画マスタープランの見直しを行うとともに、その実現に向けた施策の推進を図るため、関連する土地利用計画制度などの見直しなどを行います。 | 予9,000⇒決10,258 (「(仮称)札幌市立適性化計画 策定支援業務」委託費4,500、 「札幌市都市計画マスタープラン 見直し支援業務」委託費 3,500) |
| 2 | 地域交流拠点まちづくり推進事業 | 政)都市計画 部都市計画 課 | 地域交流拠点の機能向上を図るため、良好な民間開発への支援を行うほか、総合的なまちづくりを各拠点の特性に応じて市民や事業者との協働で推進します。 | 予2,000⇒決1,652 (「拠点における土地利用計画 制度運用方針検討支援業務」 委託費1,652) |
| 3 | 真駒内駅前地区まちづくり推進事業 【郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業費】 | 政)都市計画 部地域計画 課(調整担当) | 「真駒内駅前地区まちづくり指針」の実現に向けて、地域と協議しながら地域課題への対応や土地利用再編の方向性を検討し、「(仮称)真駒内駅前地区まちづくり計画」を策定します。 | 予2,913⇒決2,797 (「平成27年度真駒内地域エリ アマネジメント推進業務」委託 費 2,797) |

政策目標7

自然と共生する環境負荷の少ない街（創造戦略7：低炭素都市創造戦略）

政策2

多様な活動を支える環境に優しい交通体系の確立

持続可能な都市を支える交通体系を実現するため、地下鉄や路線バスなど公共交通の利用促進を図るとともに、地域の特性に応じた効率的で使いやすい地域公共交通体系を確立していきます。また、路面電車の積極的な活用を図るとともに、都心や地下鉄駅周辺における歩行空間ネットワークの充実、自転車利用環境の改善などにより、市民・来訪者の移動の快適性や交通環境の向上を図ります。

■成果指標

| 指標設定の考え方 | 指標 | 現状値 | 目標値 | 【参考】目標値 (ビジョン) |
|-----------------|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 公共交通の質的充実度を示す指標 | 公共交通に対する満足度 | 72.1% (平成26年度) | 83.9% (平成31年度) | 90% (平成34年度) |
| 公共交通の利用度を示す指標 | 公共交通の利用者数 | 112万人/日 (平成26年度) | 113万人/日 (平成31年度) | 113万人/日 (平成34年度) |

留意事項

◆H28で事業終了(No.7、9)

(単位:千円)

| No | 事業名 【】内は、評価調書上の事業名 | 担当部署 | 事業概要 | H27予算⇒決算 ()内は主な支出内容 |
|----|--------------------------|--|--|--|
| 4 | 自転車マナー向上対策事業 | 市)地域振興部 区政課 | 「自転車押し歩き地区」を設定し、自転車利用者に押し歩きを直接呼びかける取組のほか、自転車セミナーやスクエアード・ストレート方式による交通安全教室の実施など、自転車のルール・マナー向上の取組を進めます。 | 予3,249⇒決3,265 (押し歩き街頭啓発業務委託費2,484、街頭放送業務委託費259) |
| 5 | 敬老優待乗車証、福祉乗車証等のICカード移行事業 | 保)高齢保健福祉部 高齢福祉課 保)障がい保健福祉部 障がい福祉課 | 現在、磁気カードで運用している敬老優待乗車証(敬老パス)、福祉乗車証、福祉乗車券について、ICカードへの移行を行います。 | 【敬老優待乗車証】 予419,200⇒決234,855 (システム開発関係委託料2,546、交通事業者等の機器改修費157,396) 【福祉乗車証】 予647,400⇒決521,469 (交通事業者、共通利用センター機器改修に係る負担金332,587、システム開発関係委託料4,143) |
| 6 | 歩行者と自転車の共存する空間の創出事業 | 建)総務部 道路管理課 | 自転車の利用に係る問題が顕著にみられる都心部や地下鉄・JR駅周辺において、歩行者と自転車の安全・安心な通行空間を創出するために、駐輪場の整備や、自転車通行位置の明確化などを行います。 | 予433,546⇒決366,415 (北1西1再開発負担金49,237、官民協働駐輪場整備45,532、西28丁目37,420、北34条16,330) |
| 7 | 地下鉄等利用者の情報アクセス向上事業 | 交)事業管理部 総務課 交)事業管理部 総務課 営業課 | 地下鉄などの利用者が運行情報や駅・停留場周辺情報などに容易にアクセスできるよう、ホームページのリニューアルやスマートフォンへの対応などを進めるとともに、地下鉄駅の公衆無線LANフリーアクセスポイントを増設します。 | 【ホームページ改修】 予6,110⇒決5,238 (ホームページリニューアル業務4,320、テンプレート検証業務486) 【サーバー調達】 予2,819⇒決24 (クラウドサーバー調達業務24) |
| 8 | 交通局建築施設耐震改修事業 | 交)高速電 車部 施設課 | 利用者の安全・安心確保のため、交通局建築施設の耐震診断を進めるとともに、耐震性能が不足している南北線高架駅などについては、順次改修工事を実施します。 | 予1,288,429⇒決768,326 (自衛隊前駅耐震改修工事H27出来高707,883、同上監理業務20,700) |
| 9 | 東豊線可動式ホーム柵整備事業 | 交)高速電 車部 施設課 | ホームから走行路面への転落や列車との接触事故の防止対策として、列車のドアに連動して開閉する可動式ホーム柵を東豊線全駅に設置します。 | 予5,476⇒決3,826 (設置工事費3,826) |

政策目標7

自然と共生する環境負荷の少ない街（創造戦略7：低炭素都市創造戦略）

政策3

自然との共生とみどり豊かな都市づくりの推進

都市を取り囲む自然の恩恵を享受できる札幌らしい豊かな都市環境と景観を次世代に引き継ぐために、生物多様性や森林などの自然環境の保全、みどりの創出とネットワーク化を推進します。また、市街化調整区域については、自然環境の保全を前提としつつ、その特質を生かした土地利用の在り方の検討を進めます。

■ 成果指標

| 指標設定の考え方 | 指標 | 現状値 | 目標値 | 【参考】目標値 (ビジョン) |
|-------------------|---------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 市民の生物多様性の理解度を示す指標 | 生物多様性の理解度 | 36.6% (平成26年度) | 55.2% (平成31年度) | 70.0% (平成34年度) |
| 札幌市のみどりの豊かさを示す指標 | 保全されているみどりの面積 | 21,560ha (平成26年度) | 21,677ha (平成31年度) | 21,800ha (平成34年度) |

留意事項

◆H28に事業統合(No.17)

(単位:千円)

| No | 事業名 【】内は、評価調書上の事業名 | 担当部署 | 事業概要 | H27予算⇒決算 ()内は主な支出内容 |
|----|---|------------------|--|--|
| 10 | 生物多様性推進事業の拡充 | 環)環境都市推進部環境管理担当課 | 生物多様性を将来にわたり保全し、持続可能な社会に貢献するため、動植物データベースの構築など「生物多様性さつぽろビジョン」に基づく自然環境の保全及び生物多様性に配慮したライフスタイルの推進事業を拡充します。 | 予11,924⇒決10,236 (マルハナバチ調査運營業務委託費2,268、平成27年度札幌市版レッドリスト作成補助業務委託費:2,095) |
| 11 | ヒグマの市街地侵入抑制事業 | 環)環境都市推進部環境管理担当課 | 市街地へのヒグマの侵入を抑制し市民の安全を図るため、(仮称)ヒグマ対策基本計画を策定するとともに、河畔林の伐採など必要な対策を進めます。 | 予12,000⇒決11,084 (調査委託費9,710、電気柵等1,064) |
| 12 | 安全・安心な公園再整備事業(単独・補助) | 建)みどりの推進部みどりの推進課 | 誰もが地域の公園を安心して安全に利用できるよう、老朽化した遊具や管理事務所などの改修を行うほか、出入口や園路の段差解消やバリアフリー対応トイレの整備など、施設のバリアフリー化を実施します。 | 予1,206,536⇒決1,047,238 (社会資本整備総合交付金事業 豊平公園緑のセンター新築工事316,851、社会資本整備総合交付金事業 豊平公園緑のセンター新築冷暖房衛生設備工事61,806) |
| 13 | 主要公園の管理運営手法の検討 【大通公園におけるみどりの保全と活用の持続的発展のための基礎調査】 | 建)みどりの推進部みどりの推進課 | 札幌の主要公園について、公園としてのみどりの保全とイベント開催などでの活用の両立を図り、自然と共生する快適な都市生活を実現し、新たな観光資源として魅力を発信するマネジメント手法などを検討します。 | 予2,500⇒決2,268 (業務委託費2,268) |
| 14 | 水環境計画推進事業 | 環)環境都市推進部環境対策課 | 身近な水辺やそこに棲む生物にふれあい、市民がうるおいと安らぎを感じることができる都市の実現を目指し、観察用具の貸し出しや河川状況の調査など、市民等と連携して水環境保全活動を推進しています。 | 予2,290⇒決2,694 (水辺の活動適正度調査委託費2,376、環境広場会場使用料162) |
| 15 | 地域に応じた身近な公園整備事業(単独・補助) | 建)みどりの推進部みどりの推進課 | 良好な都市環境を維持・創造するため、人口の増加により身近な公園が一層不足すると予想される既成市街地への新規公園整備を進めます。 | 予3,000⇒決1,839 (緑の審議会説明資料等作成業務1,026、Microsoft Office 2016 ライセンス671) |
| 16 | 地域と創る公園再整備事業(単独・補助) | 建)みどりの推進部みどりの推進課 | 老朽化した身近な公園を対象に、地域の方々との意見交換を行い、地域ニーズを十分に取り入れた再整備を実施します。また、地域内に公園が複数存在する場合は、各公園の役割分担を明確にし、機能重複の解消を図った再整備を実施します。 | 予935,815⇒決1,044,462 (社会資本整備総合交付金事業 北郷公園再整備工事201,512、社会資本整備総合交付金事業 西野中央公園再整備工事80,800) |
| 17 | みどり資源の保全推進事業 【特別緑地保全地区取得整備費、都市環境林取得整備費】 | 建)みどりの推進部みどりの管理課 | ・都市計画法及び都市緑地法に基づき、良好な都市環境を形成している市街地の樹林地等を特別緑地保全地区に指定し、樹林地の保全に必要な整備等を行います。 ・札幌市都市環境林等事業実施要綱に基づき、市街地を取りまく私有林のうち、自然環境・景観及び防災上などの公益的機能上、特に保全が必要な樹林地を計画的に取得し、併せてその保全・育成や市民の自然とのふれあいの場としての必要な整備を行います。 | 【樹林地の整備】 予60,000⇒決59,099(施設整備費58,741、測量委託費357) 【樹林地の取得・整備】 予14,889⇒決14,920 (南沢第二都市環境林用地買戻し12,999、施設整備費1,250) |

政策目標 2

誰もが生涯現役で活躍できる街（創造戦略2：共生社会創造戦略）

政策 3

歩いて暮らせるまちづくり

自家用車を利用しない市民も住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、生活利便機能の維持・向上を推進するとともに、多くの市民が訪れる地下鉄駅周辺施設などの利便性を向上し、歩いて暮らせるまちづくりを進めます。

■ 成果指標

| 指標設定の考え方 | 指標 | 現状値 | 目標値 | 【参考】目標値 (ビジョン) |
|-----------------------|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 住んでいる地域の住環境の充実度を示す指標 | 住んでいる地域の住環境に満足している人の割合 | 78.9% (平成26年度) | 89.0% (平成31年度) | 95% (平成34年度) |
| 公共交通の利用度を示す指標【7-2 再掲】 | 公共交通の利用者数 | 112万人/日 (平成26年度) | 113万人/日 (平成31年度) | 113万人/日 (平成34年度) |

留意事項

◆H27で事業終了(No.19、29)、H27外部評価(市民参加ワークショップ)対象事業(No.28)

(単位:千円)

| No | 事業名 【】内は、評価調書上の事業名 | 担当部署 | 事業概要 | H27予算⇒決算 ()内は主な支出内容 |
|----|---|------------------|---|---|
| 18 | 市役所公式ホームページ改修事業 【広報一般事務費】 | 総)広報部広報課 | 市民などが市政情報へ容易にアクセスできるよう、市役所公式ホームページのスマートフォン対応を実施します。また、オープンデータ化の推進を図るため、札幌市が外部に公開・提供しているデータを一覧的に検索できるカタログページを新たに開設します。 | 予1,000⇒決340 (カタログサイト構築に係る委託料340) |
| 19 | 広報手法調査研究事業 | 総)広報部広報課 | 札幌市が実施する様々な広報事例を調査分析し、効率的・効果的かつ戦略的に広報を実施するための判断材料となる指針を策定します。また、調査分析や策定に当たっては民間企業などのノウハウを活用します。 | 予10,000⇒決9,990 (広報手法調査研究委託費9,990) |
| 20 | 駅周辺施設エレベーター等設置事業 【大通東4地区優良建築物等整備事業費】 | 政)都市計画部事業推進課 | 超高齢社会を見据えた利便性の向上や上下移動の負荷を軽減するため、地下鉄駅におけるエレベーターやエスカレーターの新設・改修を実施します。 | 予200,000⇒決200,000 (共同施設整備費への補助200,000) |
| 21 | 市税のクレジットカード納付導入事業 | 財)税政部税制課 | パソコンやスマートフォンなどの手続きにより、市・道民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税のクレジットカード納付ができるようにします。 | 予10,320⇒決7,765 (基幹システム改修委託費7,765) |
| 22 | 地区センターバリアフリー化事業 | 市)地域振興部区政課 | あらゆる方が施設を便利に使えるよう、エレベーターが設置されていない地区センターに、新たにエレベーターを設置します。 | 予80,013⇒決51,853 (工事費48,053、委託費3,427) |
| 23 | コンビニ交付システム構築等事業 | 市)地域振興部戸籍住民課 | 市民の利便性向上のため、マイナンバーカードを使って、市内に数多くあるコンビニエンスストアの端末で、住民票などを発行するサービスを開始します。 | 予104,500⇒決3,170 (職員手当等2,064、システム構築等委託料1,080) |
| 24 | 安全・安心な道路環境の整備事業 | 建)土木部道路課 | 誰もが安心して通行できる道路環境を整備するため、歩道のバリアフリー化、幹線道路の交差点事故対策、通学路の整備などを実施します。 | 予2,526,150⇒決2,182,872 (工事請負費1,860,929、工事関連委託料178,652) |
| 25 | 地域の拠点としての学校図書館活用事業 | 教)生涯学習部生涯学習推進課 | 学校図書館を地域へ開放する「学校図書館地域開放校」を拡大し、地域の多世代交流の場として活用します。 | 予72,287⇒決67,977 (運営委託費63,998、図書費1,814) |
| 26 | 民間施設改善資金貸付事業 | 保)障がい保健福祉部障がい福祉課 | 民間公共的施設の新設及び増築等の工事に対する低利子融資を金融機関との協調融資により行い、利子相当分を金融機関へ補助します。 | 予32,711⇒決672 (預託金652、利子補助金20) |
| 27 | 福祉のまちづくり推進事業 | 保)障がい保健福祉部障がい福祉課 | 障がいのある方や高齢の方などの社会参加を促進し、誰もが安心して快適に暮らせる福祉のまちづくりを進めるために設置した「福祉のまちづくり推進会議」の運営等。 | 予2,175⇒決713 (委員報酬・謝礼664、議事録作成費49) |
| 28 | 健康推進事業 | 保)保健所健康企画課 | 健康さっぽろ21(第二次)の取組である、健康づくり自主活動グループ等への支援や人材育成、企業や関係機関等との協働による啓発などを進め、社会全体として健康づくりに取り組みやすい環境を整備します。 | 予13,964⇒決16,260 (若い世代の健康づくりに関するワークショップ等の委託費9,195、普及啓発媒体等の需用費1,604) |
| 29 | 図書館バリアフリー化事業 | 教)中央図書館運営企画課 | 高齢者や障がい等のある方が快適に図書館を利用できるように、トイレの洋式化により、図書館のバリアフリー化を進めます。 | 予4,400千円⇒決3,157千円 (バリアフリー工事費3,157千円) |